

診察などでお待ちの間にお読み頂くパンフレットです。



平成 31 年 1 月 1 日 発行  
KKR 札幌医療センター  
〒062-0931  
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40  
電話(011)822-1811  
<http://www.kkr-smc.com>

(31-1 号)



**理 念**  
「病院は人々のところで、活力ある病院、選ばれた病院を創ります  
生命の尊厳を保ち、健康の回復につくします  
温かな配慮で安心(あんねい)につくします

**基本方針**

1. 「生活の質」向上に重きをおく医療を心がけます
2. 安全を確保し、時代を先取りした医療を推進します
3. 患者さんの声に耳を傾け、分かりやすく説明します
4. 医療の情報を速んで開示します
5. 地域に信頼される医療を目指します



1 月 ( 睦月 ) のこよみ

**健康関連用語 - シリーズ 110**

1 月 1 日 ( 火 ) 元日  
1 月 14 日 ( 月 ) 成人の日  
1 月 20 日 ( 日 ) 大寒

1 月 20 日は、「20=ツマル」で血栓予防の日です。この日から 1 ヶ月間が「血栓予防月間」です。現代人の血管は詰まりやすくなっています。

ストレスや食生活の変化、生活習慣の乱れから、私たちの血液はコレステロールや脂肪値の高いドロドロになりがちです。つまり血栓もできやすく、血液成分のバランスもくずれがちで、血栓ができて溶けにくい体質になってきています。この血栓が心筋梗塞や脳梗塞などの重大な病気の原因になっています。これらの病気は発症するまで自覚症状がなく、多くの場合、症状が突然現れます。また、後遺症が残ることも多い病気です。

このような社会環境の中で、何よりも大切なのが予防です。血栓を作らずできてしまった血栓を溶かす体質にするために、運動や食事による生活習慣の改善が必要です。血栓を溶解する成分「ナットウキナーゼ」は、納豆のネバネバの中に多く含まれています。日本人に多い血栓症の予防のために、食事は重要です。特に日本の伝統食のひとつでもある納豆は、ネバネバ部分に血栓溶解作用を持つ成分を多く含みます。「納豆どき(冬の医者知らず)」といった諺もあったほどです。ただ食品としての納豆には、血栓溶解を促す成分「ナットウキナーゼ」が含まれている反面、血液凝固を促進する「ビタミンK2」も含まれています。そのため、ビタミンK2の除去されたナットウキナーゼの方が、納豆に比べ優れた血栓溶解作用を持っています。年齢とともに詰まりやすくなる血管。毎日のナットウキナーゼは血栓症予防のひとつです。 ナットウキナーゼで、血管を大切にして、健やかな毎日を過ごしましょう。

# 「医療安全の取り組みについて」

医療安全管理室師長 田川 早苗

安全な医療の提供は、患者さんにとっても、私たち医療者にとっても大変重要なことであり、一番の望みでもあります。

当院の理念・基本方針の中でも、「安全を確保し、時代を先取りした医療を推進します」「患者さんの声に耳を傾け、わかりやすく説明します」と掲げ、職員一同で取り組んでいるところです。

具体的な活動としては、インシデント・アクシデントを収集し、対策を検討していくのは勿論のこと、研修会や医療安全取り組み発表会の開催、全職員が気道確保・心臓マッサージ・AED使用など救急対応ができるための訓練(BLS)(訓練修了者はネームに“りんごシール”を貼っています)、各部署でのKYT(危険予知トレーニング)や5S活動、キャンペーン活動などがあります。

そして、最も重要な取り組みは、患者さんと共に行う医療安全活動です。受診や処置の際にお名前と生年月日を言って頂くことをはじめ、様々な患者誤認防止対策がその一つですが、今回は、入院時の転倒転落防止活動についてご紹介させていただきます。

入院という環境は、住み慣れたご自宅とは全く違う環境であり、その生活の変化に戸惑いや混乱をきたしたり、体力の低下や運動機能の低下が加わり思いもかけない転倒転落事故が起きることも少なくありません。

そのようなリスクをできる限り回避していくために、看護師は、転倒転落チェックリストの確認や、患者さんにナースコールテストのご協力をいただき、リスク評価を行います。

また、ご本人、ご家族の方からご自宅での生活状況、入院に際しての不安やご希望などを伺い、ご相談しながら看護計画を立てていきます。履物の検討やベッドの配置、普段使用されている物の活用、排泄パターンに合わせたケア、心配事への対応など、ご本人やご家族の情報をもとに、ご本人に合った環境を提供し、その方を尊重したケア計画となるよう検討したいと考えております。そして、その事を、ご本人・ご家族の方と共有しながら、できる限り「一緒に実施する」ことを心がけています。

厚生労働省からも、安全な医療を提供するための10の要点が出されていますが、その中には「安全高める患者の参加 対話が深める互いの理解」があり、医療の主役である患者さんが参加する事の重要性が挙げられています。医療者と患者さんとの対話により信頼関係を築くことが、安全と安心の医療に繋がっていくものだと思います。

これからも、患者さんが安心して受診して頂けるために、様々な医療安全活動に取り組んでいきたいと思っています。どうぞ、わからない事等ご遠慮なく声をかけて頂き、みんなで一緒に取り組んでいただけたら幸いです。